

びとう和広後援会ニュース

2018.1.1

第47号

発行責任者
浅居繁樹

安心で元気な
三田のために

今年も全力で
頑張ります！



去年の成人式！

明けましておめでとうございます。

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年秋には、いきなりの衆議院解散総選挙、希望の党ができ、民進党が合流、小池代表のリベラル排除発言から、立憲民主党の立上げや希望の党のバッシングなど目まぐるしく揺れ動きました。結果として自公の大勝となり、大義のない総選挙でした。消費税は増税、働き方改革や景気対策は先送り、財政再建はさらに遠くなりました。

核兵器廃絶国際キャンペーン団体 (ICAN (アイキャン)) へのノーベル平和賞授賞式で被爆者であるサーロー節子さんは「核兵器は必要悪ではなく、絶対悪。核抑止では本当の軍縮はできない。核禁止条約が光である。」と訴えました。ノーベルはダイナマイトによって巨万の富を得ましたが、その弊害を知り、ノーベル賞を創り、真の平和を祈念しています。その祈りが実現する日が待ち遠しいです。

三田市では、厳しい財政対策が進められ、農業委員など臨時の特別職も報酬5%削減、4月から議員も報酬3%削減となりました。来年度予算編成に向けたスマートセレクト(賢い選択)による行財政改革は、今までの既得権を元から見直し、事業単位に優先順位を決めて選択と集中を進めます。例えば、市民センターまつりの補助金は廃止となります。定額補助ではなく、実施した事業の定率補助で、活動支援を進めます。

写真は2017年の成人式、議会の提案もあり、成人の日(月曜祝日)の前の日曜日に開催されました。遠方の成人も同窓生との交流を図れるようにしたものです。2018年も1月7日に開催されます。このような、参加者の気持ちに寄り添える改革は、大賛成です。

後援会では、10月7日開催三菱電機三田製作所オータムフェスティバルへの協賛、11月29日にポウリング大会開催などを実施しました。多くのご参加ありがとうございました。また、最近、色々な形で、ご要望やご提案を頂く機会が増えてきました。一つひとつのご意見を、真摯に受け止め、確認しながら、丁寧に進めてまいります。

これから迎える急激な少子高齢化と厳しい財政に対し、皆様の声をしっかりと聞きし、IT技術を活かした抜本的な改革を訴えながら、皆様の声を活かせる市政へと、頑張ってください。本年も、引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



三田市議会議員
かずひろ
びとう和広



びとう和広の活動日記

10月以降の活動報告です。



衆議院選挙の応援

10/20

突然の解散総選挙
野党の足並みがそろわず
残念な結果になりました。



認知症サポーター講習

10/25

三菱電機(三田)で認知症講座
認知症サポーター養成講座を
労組の主催で開催されました。



国会・憲政記念館訪問

10/27

電機連合(兵庫)で国会訪問
写真は隣にある憲政記念館
尾崎行雄記念館の寄贈を受け
近代日本政治の歴史を展示。



来年度予算要望手渡し

11/6

会派「市民の会」の要望書手渡し
この後、内容を説明しました。



今年もサンタが疾走

12/17

マスターズマラソン
冬の風物詩となったマラソン
サンタシティの呼び声で
今年もサンタさんが一杯！

2017年:三田市事業振り返り

2017年三田市の事業の振り返りです。
市民の声を聴こうとする審議会や意見交換会が多く、市長の想いが強く感じられます。

項目	内容
1月	・「明日の風がみえるまち 三田」キャッチフレーズ使用開始 ・「シティセールスポータルサイト」開設プレ企画 ・市民参加型写真投稿によるシティセールスポスター作製 ・市役所庁舎前広場の愛称募集⇒「風の広場」に決定
2/8	・証明書コンビニ交付サービスの開始
2/15	・不法投棄情報提供&災害時災害廃棄物の収集運搬等協定締結
2月	・議会答弁等の進行管理の公表 ・「実践創業塾」の開催(2/4,11,18,25の全4回) ・「地域元気ミーティング」での意見への進行管理の公表 ・市地域おでかけサポート(社会実証実験)実施協力地区決定 ・第3次市地球温暖化対策実行計画(さんだエコプラン21(Ⅲ))策定
3/1	・「市オリジナル出生届」及び「市オリジナル出生届(記念用)」作成
3/16	・市公共施設等総合管理計画の策定
3/25	・三田駅前Bブロック地区第一種市街地再開発事業:竣工式
3/29	・加圧式給水車披露式典の開催
3月	・「市制施行60周年事業検討委員会」の設置 ・未来まちづくりミーティングの開催
4/1	・市民病院の職員駐車場料金の改定
4/28	・市内北部ため池破損
4月	・市教育大綱の策定 ・三田版働き方改革の実施 ・新・市人材育成基本方針の策定 ・第3次定員適正化計画の実施 ・行財政構造改革方針及び行動計画2017の策定 ・平成29年臨時窓口の開設状況
5/26	・市観光協会の事務所移転等
5月	・まちのブランド発信ポータルサイト「さんだうえるかむサイト」開設 ・市職員時間外勤務削減の取組み ・市総合文化センター・ホールのネーミングライツスポンサー募集 ・「障害者の総合相談窓口」の愛称募集⇒「きいてネット」に決定 ・「手話であいさつ」の実施
6/12	・うるるかむ三田支援事業補助金交付要綱の制定
6月	・平成29年度重要施策進行管理項目一覧 ・市協働事業提案制度に係る平成29年度事業の採択決定 ・市ため池保全管理対策会議の設置
7/4	・「里山の保全・活用に関する懇話会」(7/4,8/22開催)
7/20	・市の区・自治会加入促進に係る協定の締結
7/21	・急性期医療に関する情報交換(今後数回開催)
7月	・地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の実施 ・「子どもの生活のアンケート調査」&
8/1	・平成29年度関西学院大学・市インターンシップの実施(〜8/10)
8月	・さんだ住まいるチームメンバー(第2期)の就任 ・生涯学習カレッジの改革(第一次改革)
8/9	・レジ袋削減に向けた取組みに関する協定の締結
9/3	・市消防団ポンプ操法大会
9/1	・県太陽光条例施行規則の改正
9/16	・キャンドルナイトコンサート&表彰式の実施
9/19	・介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)に係る
9月	・平成29年度高齢者福祉月間に伴う長寿祝福事業等
10/7	・市公共交通まちづくりシンポジウム(各地域は11/11,12に開催)
10/22	・衆議院議員総選挙&最高裁判所裁判官国民審査
10/30	・平成29年度市・区自治会懇話会の開催
10月	・市手話施策推進方針の策定 ・市制施行60周年記念事業(シンボルマーク・推進協議会の設置) ・カルチャータウン地区センター協議 ・公民協働による自治会回覧板の共同発行 ・最新鋭「循環器系血管造影装置」の導入
11/3	・三田ビール検定の実施
11/4	・学生のまちづくり活動中間報告会・交流会の開催
11/12	・平成29年度市総合防災訓練及び阪神7市1町合同防災訓練
11/13	・「産業創造戦略懇話会」2回開催し提言書手交
11月	・ふるさと納税の見直し(市民への返礼品廃止) ・コーポレートフェローシップの実施 ・「市公共施設マネジメント推進に向けた基本方針(案)」の策定 ・放課後児童クラブ指定管理者制度導入方針 ・公民協働による「さんだ子育てハンドブック」の協働発行 ・「児童虐待防止推進月間」・「女性への暴力をなくす運動」の取組み ・入札参加資格の有効期間の3年に延長等 ・市高齢者等SOSネットワーク ・空き家に付随する農地の取扱い見直し
12/23	・公共施設タウンミーティング(全体版)の開催
12月	・平成29年度サンタ×三田プロジェクトの実施 ・市障害者福祉金の廃止



2018年：三田市主な予定事業

2018年の三田市の主な行事です。

実施時期	事業名
1月	福島(新三田駅周辺)土地区画整理事業の本格着工
2/3	平成29年度三田市高校生議会
3/4	さんだノルディック・ウォーキングフェスタ2018in有馬富士の開催
3月	中学校空調設備設置工事
3月	三田市立学校園のあり方審議会答申及び基本方針の策定
3月	三田市産業創造戦略の策定
3月	「市街地周辺景観計画」及び「山並み・田園景観計画」の策定
3月	通学路等への防犯カメラ設置
3月	地域防犯灯のLED化推進
4月～	プロジェクトチームの活性化・職員提案制度の見直し
4月～	三田小学校、ゆりのき台小学校校舎増築等工事
4月	三田市空家等対策計画の策定
4月	第7期三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定
4月	第5次三田市障害者福祉基本計画の策定、施行
4月	第5期三田市障害福祉計画の策定、施行
4月	第1期三田市障害児福祉計画の策定、施行
4月	第3次三田市環境基本計画の策定、施行
4月	第2次三田市スポーツ推進基本計画の施行開始
4月	第5次三田市男女共同参画計画の策定、施行
4月	さんだ生涯学習カレッジ(大学新課程&研究科の募集・開講)
4月	行財政構造改革行動計画2018の策定
4月～	三田市制施行60周年記念事業(1年間)
7月	(仮称)三田市障害者差別解消条例の制定・施行
7月	三田市一般廃棄物処理基本計画の策定、施行
7月	在宅医療・介護連携支援センターの開設(予定)
12月	(仮称)三田市里山の保全・活用に関する条例の制定
12月	公共施設マネジメント推進の取り組み

びとう和広の視点

12/23 三田市の友好都市である鳥羽市に、スポーツ交流事業(バレーボール交流)に行きまして。

鳥羽市は三重県の東南に位置する面積 107k m²、人口 2 万人弱の水産と観光を中心とする市です。

三田市とは、7 年前「山の九鬼、海の九鬼」との関係から友好都市宣言し、スポーツ交流では、野球、剣道に続き、今回はバレーボール協会が担当しています。双方の市を交互に訪れる方式で、去年は三田市が受入れでした。今年は、小学生の部の2チームと一緒に鳥羽市にバスで訪問した訳です。

去年の三田の行事に参加した子もいましたので、懐かしかった子も居たようです。

私は、バレーボール協会長として、歓迎に対する感謝のご挨拶をさせていただきました。



三田市協会を代表して



鳥羽市と交流バレーボール協会長として参加し、開会の歓迎に感謝の挨拶、左は鳥羽の子にアドバイス。

鳥羽市に移管された、海の博物館



昔の潜水服



天井は船の底



潜水艇実物

指導方法も各指導者の個性があり、色々な練習方法に感心致しました。鳥羽市の抱える課題も、これから規模が縮小する三田のお手本のような苦労もお聴きできました。選手同士の交流だけでなく、チーム維持の難しさを抱えて、指導者同士の交流も図れました。

今回、交流事業にあたり、鳥羽市の文化を感じられる施設の見学をお願いしておりました。最近市に移管された「海の博物館」を子どもたちと一緒に見学できました。鳥羽市ならではの「海」、津波の怖さや、死と隣り合わせの漁の怖さを知ることで、海産物の有難さを少し知ることができたのではないかと、思います。

交流を通してお互いを知る。これからの交流に、さらなる可能性を見出したのではないと思う事業となりました。

びとう和広後援会より

今年 10 月以降の活動としては

10/7: 三菱電機三田 オータムフェスティバルに協賛

(土)11:00~16:00 三菱電機三田製作所構内

11/29: 後援会ボウリング大会

12月: 支援組織挨拶廻り

等の後援会関連行事を実施しました。

オータムフェスティバル



10/7

びとう和広後援会ブース
恒例のくじびきです。
午前中は小雨で、なかなか
お客様が来られませんでした



びとう和広後援会ブース
雨が上ると、
ご覧の行列でした。
多くのお客様に
お待たせして
申し訳ありません。



びとう和広後援会 完売
全てのくじを
完売出来ました。
多くのご参加
本当にありがとうございました。
ございました。

後援会ボウリング大会



栄えある優勝
1ゲーム目は伸び悩みましたが、
2ゲーム目は実力の200点越え
お見事でした。



開会の挨拶

これからの予定は

- 1月: 各労組/団体の旗開き・新年会に参加
 - 2/3: 三菱電機労組(三田)とかにツアー共催
 - 3/14: 構内市政報告会
 - 4月: びとう和広後援会総会
- 等の後援会活動を予定しています。

また、「皆様との対話」をモットーに、毎月2回の構内
市政相談会を続けるとともに、後援会員のお宅訪問や
労組訪問を続けてまいります。皆様のご支援・ご参加・
ご協力のほど、よろしくお願い致します。

後援会会長 ご挨拶

旧年中は、後援会活動に対しまして、ご理解とご協力
いただきましてありがとうございます。今年もよろしくお願い
申し上げます。

さて、昨年から後援会ニュースを郵送する際に、ニュー
スと別に市政報告を入れさせていただいております。
以前は、後援会ニュースの中に、議会報告を含んでおり
ましたが、外出しにして、より議会活動を明確にまた詳し
く報告するようにしました。後援会の方から、美藤議員の
主張(質問)と市側の主張(回答)がはっきり分かるよう
になり、市政に対する納得性が高まった、とのお褒めの言
葉もいただき、感謝しております。

後援会として、美藤議員が議会
活動の中で、皆さんからのご意見、
ご要望をしっかりと反映できるよう、
これからも皆様との接点を大事にし
ていきたいと考えておりますので、
報告会やイベントなどへのご参加を
よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今年も皆様
にとって実り多き1年になりますよう
ご祈念申し上げ、新年のご挨拶に
代えさせていただきます。



びとう和広後援会
会長 浅居 繁樹

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bito-kazuhiro.com>